

令和 2 年度

事 業 報 告 書

令和2年度 事業実績

I. 事業実績

(公益財団法人として)

世田谷区保健センターは、昭和51年10月に財団法人として設立され、区民の健康保持増進に資する総合的な健康診査、健康相談・指導及び教育、疾病予防に向けた検査・検診等の医療事業等を展開してきた。また、平成12年4月からは障害のある区民に向けた相談支援事業、機能訓練事業、交流等地域支援事業等にも取り組んできた。平成23年2月には公益財団法人に移行し、公益性の高い団体として事業を展開している。平成30年度末の区立総合福祉センター廃止に伴い、自立訓練事業等は東京リハビリテーションセンター世田谷に事業移行し、相談事業等は区立保健センター事業として引き続き実施している。

令和2年度は、世田谷区(以下「区」という。)より受託した区立保健センターの指定管理第5期(令和元年度～令和5年度)の2年度目であり、保健センターが4月に区立保健医療福祉総合プラザ(以下「うめとぴあ」という。)内に移転し、事業を開始した。移転に際しては、事業の中断を極力短くし各事業開始に向けて取組みを進めた。当財団では、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取組みの拡充、利用者視点に立った障害福祉事業の展開とともに、移転を契機にこころの健康に係る相談支援など新たな事業の実施や拡充のほか、更新した高度医療機器のPRに努め、地域医療機関への後方支援の強化を進めた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による令和2年度当初の緊急事態宣言により、事業の一部休止や縮小を余儀なくされ、上半期では収益事業の大幅な減収となったが、下半期には収益事業の実績が一定程度回復したこと、事業費等の費用が抑制できたことなどにより、当期経常増減額はマイナス1,074万円とほぼ当初予算通りの結果となった。

一方、令和2年度末には、この間の社会経済状況の変化や区の新実施計画(後期)(平成30年度～令和3年度)における外郭団体改革基本方針を踏まえ、今後の中長期的な経営方針として「世田谷区保健センター第三次経営ビジョン」(令和3年度～令和7年度)及び自主事業である「健康教育」「各種検(健)診等の医療事業」などを対象とする「世田谷区保健センター財務改善計画」を策定した。新たなビジョンとともに、「うめとぴあ」における保健センター機能を支える基盤強化に向け、さらなる経営の効率化、自主財源確保の取組み強化による経営の安定化を図り、区民の健康の保持増進と区民福祉の向上に寄与するという財団の目的達成に向けて経営改革を進めていく。

令和2年度における新規事業、拡充事業等の実施状況は次のとおりである。

- がん対策事業 「がん検診受付センター」の運営を従来の胃がんに加え、乳がん、大腸がん、子宮がん、肺がん検診等に拡大した。また、がん相談では、電話相談の時間を1時間拡大し、原則予約なしで区民の相談に対応できる体制を整備した。
- 健康増進事業 「障害者の健康支援プログラム」として、施設内での障害者向け健康講座を試行開催した。また、多くの健康づくり自主グループが新型コロナウイルスの影響で活動を休止したため、運動ができる会場を地域に確保し、機会を失った区民に呼びかけて継続支援にあたった。
- 健康教育事業 「健康情報の収集・活用・発信」として、開館無料体験イベントや保健センターまつりを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。
- 障害者専門相談事業
訓練・療育事業を移行した「東京リハビリテーションセンター世田谷」との連携に努め、相談事業を実施した。
- こころの健康支援事業
平日夜間・休日の電話相談を新たに開始した。

(新型コロナウイルス感染症への対応)

令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、「うめとぴあ」の開館イベントの中止のほか、財団運営に大きな影響を及ぼしたが、各種事業の継続および区民の健康維持に向け、以下の取組みを行った。

昨年4月の緊急事態宣言にあたっては、区の対応方針に基づき、「がん検診」「健康増進事業の健康度測定」「健康づくり講座・教室」「健康教育事業の各種教室」や「運動コース・マシントレーニング」、対面、訪問による障害者専門相談等の事業を約2か月休止した。休止期間中、外出自粛要請を踏まえ、区と協働して動画等を使つてのフレイル予防の啓発活動を行い、緊急事態宣言解除後の6月から順次事業を再開した。一方、「障害者専門相談」「がん相談」「こころの相談」などの電話相談は休止せず、地域医療の後方支援としての保険診療等による検査についても、感染症予防策を講じ事業を継続した。

財務面では、収益事業の中心である保険診療等による検査事業が大幅な減収となった。これは、とくに上半期において感染症への不安から医療機関の受診控え、感染予防のため受入数自体も大きく抑える対応を取ったこと、さらに衛生物品の入手が困難であったことから精密検査の一部を3か月程休止せざるを得なかったことによるものである。

なお、いずれの事業も再開に向けては、消毒、換気、定員抑制（健康増進指導では保健センター独自に定員基準（1人あたり8㎡）を設けた）などの対策を十分に講じ、10月以降の事業実績は、全体としてコロナ前の状況に戻ってきている。

1 公益目的事業

公益 1 世田谷区民の健康の保持増進及び福祉の向上を図る事業

(1) 区立保健センター維持管理運営（定款第4条第1号事業）

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) がん対策事業（定款第4条第1号事業）

① がん検診受付センター【拡充】

世田谷区の対策型がん検診等の受診を希望する区民の申込みや問合せの総合窓口として、従来の胃がん検診（エックス線・内視鏡）に加え、乳・大腸・子宮・肺・前立腺の各がん検診やB型・C型肝炎ウイルス検診、胃がんリスク（ABC）検査の申込受付及び受診票発券等を行った。

[表 1]

事業項目	年度	令和2年度	元年度	平成30年度
		実績	実績	実績
胃がん検診（エックス線）		3,390 件	4,384 件	4,754 件
胃がん検診（内視鏡）		11,678 件	11,091 件	9,947 件
乳がん検診		3,332 件	—	—
子宮がん検診		5,541 件	—	—
大腸がん検診		7,140 件	—	—
肺がん検診		2,080 件	—	—
胃がんリスク検査		337 件	—	—
前立腺がん検診		905 件	—	—
B型・C型肝炎検査		2,209 件	—	—
合 計		36,612 件	15,475 件	14,701 件

② 胃がん検診

エックス線撮影による胃がん検診は、40歳以上の区民（1年に1回）を対象に、保健センター施設内およびデジタル撮影システムの検診車でいった。

内視鏡による胃がん検診は、50歳以上の区民（2年に1回）を対象に、指定医療機関で行っている。保健センターは、指定医療機関（区内90機関）のひとつとして検査を実施するとともに、世田谷区胃内視鏡検診運営委員会の事務局支援を行った。

また、検診の結果により、必要な区民に対しては、精密検査の受診を勧奨した。

[表2]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診 (エックス線)	回数		350回	273回	78.0%	530回	440回	477回
	受診者数		7,000人	2,289人	32.7%	10,000人	4,038人	4,884人
	がん発見数		—	2人	—	—	7人 (5人)	7人 (6人)
胃がん検診 (内視鏡)	回数		—	35回	—	—	36回	41回
	受診者数		200人	144人	72.0%	200人	155人	197人
	がん発見数		—	1人	—	—	0人	3人 (3人)

※ 【胃エックス線検診】申込数 2,527 人(受診率 90.6 %)、要精検数 276 人(要精検率 12.1 %)

【胃内視鏡検診】申込数 144 人(受診率 100.0 %)、要精検数 11 人(要精検率 7.6 %)

※ がん発見数は令和3年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

③ 乳がん検診

世田谷区では40歳以上で偶数年齢の女性区民（2年に1回）を対象として視触診とマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）の併用検診を指定医療機関に委託して行っている。

地域医療機関で視触診を受けた後に保健センターでマンモグラフィを行う場合と、保健センターで視触診とマンモグラフィを同日に行う場合の2つの検診パターンを整えて実施した。

[表3]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数		200回	129回	64.5%	200回	171回	180回
	マンモグラフィ		430人	159人	37.0%	430人	225人	309人
	視触診・マンモグラフィ		1,000人	1,009人	100.9%	1,000人	1,093人	1,118人

※ マンモグラフィ申込数 163 人(受診率 97.6%)、要精検数 16 人(要精検率 10.1%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 1,026 人(受診率 98.3%)、要精検数 172 人(要精検率 17.0%)

④ がん検診等精度管理

区が対策型検診として実施する5つのがん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）及び胃がんリスク検査について、精度管理（事業評価）を行った。

[表4]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
センター実施 胃がん検診精度管理	件数	(精密) 1,000件	205件	20.5%	(精密) 1,000件	520件	566件	
医師会実施 胃がん検診精度管理	件数	(一次) 8,600件	6,083件	70.7%	(一次) 8,600件	6,770件	7,189件	
	件数	(精密) 100件	33件	33.0%	(精密) 100件	76件	90件	
センター実施 乳がん検診精度管理	件数	(精密) 150件	22件	14.7%	(精密) 130件	54件	66件	
医師会実施 乳がん検診精度管理	件数	(一次) 25,000件	18,697件	74.8%	(一次) 17,000件	19,971件	20,596件	
	件数	(精密) 1,500件	1,529件	101.9%	(精密) 1,000件	1,408件	1,411件	
センター実施 大腸がん検診精度管理	件数	(精密) 500件	198件	39.6%	(精密) 500件	387件	321件	
医師会実施 大腸がん検診精度管理	件数	(一次) 50,000件	44,190件	88.4%	(一次) 40,500件	46,710件	49,914件	
	件数	(精密) 2,000件	1,739件	87.0%	(精密) 1,000件	1,619件	1,848件	
医師会実施 子宮がん検診精度管理	件数	(一次) 40,000件	34,696件	86.7%	(一次) 30,000件	34,461件	36,961件	
	件数	(精密) 600件	455件	75.8%	(精密) 400件	429件	561件	
医師会実施 肺がん検診精度管理	件数	(一次) 65,000件	54,818件	84.3%	(一次) 50,000件	58,840件	63,424件	
	件数	(精密) 1,500件	1,286件	85.7%	(精密) 1,000件	1,370件	1,455件	
医師会実施 胃がんリスク検査集計	件数	(一次) 9,500件	7,731件	81.4%	(一次) 8,000件	8,236件	9,289件	
	件数	(精密) 1,500件	885件	59.0%	(精密) 1,000件	927件	1,196件	

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、令和2年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

⑤がん相談

がん患者とその家族などに対して、がんの不安や治療などの各種相談に対応した。

対面相談は看護師による専門相談を第2・4土曜日の月2回、電話相談は毎週木曜日の月4回のうち、看護師による専門相談を第1・3週に、がん体験者によるピア相談を第2・4週に実施した。令和2年度は、働いている方が昼休みの時間を利用して相談ができるように、電話相談の時間を午後1時まで1時間延長した。

また、10月と2月には就労世代の支援として社会保険労務士と看護師による就労相談を対面相談と同時に実施した。地域での出張相談として、社会保険労務士会世田谷支部の年金・労働相談会と連携し、「がん患者等就労相談—治療と就労の両立—」を11月に実施した。

さらに令和2年度より新たに予約不要の「一次相談」を開始し、がんに関する書籍やリーフレット等の閲覧ができる「がん情報コーナー」を開設した。

[表5]

事業項目			令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
がん相談コーナー	対面相談	回数	24回	20回	83.3%	24回	21回	23回
		人数	—	19人	—	—	24人	19人
			〔最大受入人数〕					
			72人					
	電話相談【拡充】	回数	48回	45回	93.8%	48回	45回	45回
人数		—	46人	—	—	23人	15人	
		〔最大受入人数〕						
		192人						
就労相談※	施設内※	回数	4回	4回	100%	4回	3回	4回
		人数	—	3人	—	—	5人	3人
		〔最大受入人数〕						
		8人						
	出張型	回数	1回	1回	100%	1回	1回	1回
		人数	—	2人	—	—	3人	1人
一次相談【新規】			—	34人	—	—	—	—
がん情報コーナーの設置【新規】								

※ 就労は対面と同時実施。相談人数再掲。

(3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。測定項目のうち、呼吸機能検査は感染症拡大防止のため中止した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、コロナ禍での感染予防対策として、保健センター独自の定員基準(一人当たり8㎡)を設け、運動体験講座を中心に運動・栄養・休養講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の講座を開催した。

[表6]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	50回	—	—	70回	83回	
	人数	1,500人	521人	34.7%	1,680人	1,337人	1,565人	
健康度再測定	人数(再掲)	—	2人	—	—	4人	21人	
運動負荷測定	回数	—	21回	—	—	39回	41回	
	人数	150人	32人	21.3%	150人	128人	112人	
健康増進指導	回数	—	266回	—	—	393回	407回	
	人数	10,600人	3,477人	32.8%	10,600人	10,402人	11,314人	
壮年期健康づくり教室 (夜間・土曜)	回数(再掲)	50回	36回	72.0%	50回	47回	50回	

※ 健康度測定(2次)受診総数 472 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理 459 人)、栄養指導(食生活改善 457 人)、運動指導(活動・運動方法 459 人)を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 32 人のうち、運動処方参加者 26 人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・心とからだの癒しと元気 12回(参加数 100人)
- ・食での健康 10回(参加数 124人)
- ・からだの元気 208回(参加数 2,767人)
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 36回(参加数 486人)

② 専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

実地指導では、総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催された健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、新型コロナウイルス感染症対策等で活動を中止している団体に所属している区民を対象に、玉川台区民センターを会場とし、定期的に運動指導の支援を行った。

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともに介護予防の意識を高める講座を開催した。

壮年期対象地域講座では、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団との連携のほか、児童館との連携により、若い世代の父母に向けた健康づくり講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりとして継続実施しており、プログラムの多様化を図って提供を行った。

[表 7]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数	1,130回	622回	55.0%	1,130回	1,108回	1,189回
	指導人数	—	6,705人	—	—	16,123人	18,688人
健康づくり支援	回数	100回	95回	95.0%	100回	101回	92回
地域健康出前講座	回数	20回	1回	5.0%	20回	15回	18回
	人数	—	10人	—	—	312人	385人
壮年期対象地域講座	回数	8回	4回	50.0%	8回	8回	10回
	人数	—	44人	—	—	60人	114人
地域健康講座	回数	4回	4回	100%	—	—	—
	人数	—	42人	—	—	—	—
職場のげんき力アップ	件数	5社	2社	40.0%	5社	5社	2社

③ 健康づくり支援リーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、体操指導を支援する区民ボランティアリーダーとして、「せたがや元気体操リーダー」の養成と、スキルアップのための研修を実施した。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

令和2年度は、NPO法人健康フォーラムけやき21の活動が新型コロナウイルス感染症予防のため中止となったことから、上級リーダー養成講座、リーダーによる実地指導等の実施に

ついて大部分を中止した。上級リーダー養成講座については、令和3年度に新たに養成するリーダーと合同で令和4年度に行う予定である。

[表 8]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数	隔年実施	—	—	10人	9人	—	
上級リーダー養成	人数	10人	【中止】	0.0%	隔年実施	—	11人	
研修会（講座）	回数	10回	10回	100.0%	10回	10回	10回	
研修会（指導実習）	人数	30人	9人	30.0%	30人	29人	30人	
リーダー交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	6回	
リーダーによる実地指導	回数	320回	14回	4.4%	320回	294回	319回	

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、国保年金課等と連携し重症化予防対策を展開した。このうち、「派遣型集団指導」については、新型コロナウイルス感染症予防対策として郵送での資料配布と電話での指導に変更して対応した。

[表 9]

事業項目			年度	令和2年度			元年度		30年度
				計画	実績	達成率	計画	実績	実績
重症化予防対策	派遣型 集団指導	回数	12回	【中止】	0.0%	12回	12回	8回	
		人数	—	〔電話対応〕 4人	—	—	32人	67人	
	個別指導	人数	20人	2人	10.0%	20人	0人	4人	

⑤ 障害者の健康支援プログラム

地域で開催するリハビリ・スポーツ講座は8回を玉川地域で、2回を来年度実施する世田谷地域での体験講座として開催した。また、令和2年度は新たに所内での障害者向け健康づくり講座を試行実施した。

[表 10]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リハビリ・ スポーツ講座	回数	10回	10回	100.0%	10回	10回	—	
健康づくり講座 (施設内)	回数	3回	3回	100.0%	—	—	—	

(4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

① 地域の健康づくりの基盤を広げる各種健康イベント

毎年医師会、歯科医師会、薬剤師会との共催で、健康相談、歯科衛生講習会、薬事相談を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

保健センター主催の講演会・講習会では、保健衛生知識の普及を目的として「災害時における食事の工夫」と「坐禅体験講座」を感染症予防対策を講じて開催した。

[表 11]

事業項目		令和2年度		元年度		30年度	
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための健康教室	回数	4回	【中止】		4回	4回	4回
	人数	—			—	1,386人	1,177人
区民のための糖尿病教室	回数	1回			1回	1回	1回
	人数	—			—	19人	10人
歯っぴい&健康フェスタ	回数	1回			1回	1回	1回
	人数	—	—	678人	494人		
くすり与健康のつどい	回数	2回	2回	2回	2回		
	人数	—	—	352人	249人		
講演会・講習会	回数	3回	3回	100.0%	3回	3回	3回
	人数	—	53人	—	—	214人	186人

② 健康情報の収集・活用・発信

健康情報の普及・啓発を目的とした情報発信として、健康情報紙「げんき人」の発行、ホームページ、エフエム世田谷による放送、世田谷区広報版、チラシなど様々な方法で情報発信を行った。

健康情報紙「げんき人」は、新聞折込み及び区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。また、健康づくり事業では、フェイスブックで動画等を発信するなど、利用者を増やすための工夫を図った。

[表 12]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙「げんき人」の発行	タブロイド判 2P	3回	3回	100.0%	4回	2回	3回
	タブロイド判 4P	1回	1回			2回	1回

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
2020. 4. 15 (第102号)	新しくなった保健センターで皆様のご利用を お待ちしております！ ほか	タブロイド判 2ページ 232,000 部
2020. 8. 1 (第103号)	新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた 事業を再開しました！ ほか	タブロイド判 2ページ 232,000 部
2020. 10. 1 (第104号)	あなたの睡眠を今見直してみませんか？ ほか	タブロイド判 4ページ 232,000 部
2021. 3. 1 (第105号)	最近ちょっと体力落ちていませんか？ ほか	タブロイド判 2 ページ 232,000 部

また、保健センターの事業等を広く区民に知ってもらうために計画していたイベント事業は、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

[表 13]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30 年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
新保健センター開館 体験イベント【新規】			4 月	【中止】			—	—
うめとびあ 連携イベント	回 数		1 回	【中止】			1 回	1 回
	人 数		—				—	2,605 人

③ 健康教育指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを開催した。

[表 14]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30 年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回 数		400 回	130 回	32.5%	400 回	449 回	499 回
	人 数		—	2,414 人	—	—	15,721 人	18,087 人
マシン トレーニング	回 数		—	511 回	—	—	1,081 回	1,216 回
	人 数		12,500 人	4,146 人	33.2%	12,500 人	11,305 人	13,368 人

※運動コースでは、保健センター独自の定員基準(一人当たり8㎡)を設け、定員を20名に限定、さらに、入れ替え時の接触を避けるため、前年度までの週10コースから4コースへ削減した。マシントレーニングでは、運動コース同様の定員基準で7名定員、1日5コースを3コースに削減して開催した。

④ 出張指導

団体支援として、介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣した。その他、世田谷区職員厚生課などの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 15]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	介護予防筋力アップ教室	回数	3 教室	2 教室	66.7%	3 教室	3 教室	3 教室
		人数	—	196 人	—	—	209 人	256 人
	地域づくりによる介護予防	団体数	10 団体	0 団体	0.0%	10 団体	3 団体	3 団体
	普及啓発講座(はつらつ講座)	地区数	2 地区	2 地区	100.0%	2 地区	2 地区	2 地区
	その他の出張指導	派遣人員	40 人	12 人	30.0%	40 人	30 人	29 人
		参加人員	—	168 人	—	—	1,043 人	1,004 人

⑤ 地域連携、健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学と連携した講習会を開催した。

しかし、これまで行ってきた健康づくり活動を20年継続している区民の自主グループへの表彰は、新型コロナウイルスの感染予防のため表彰式を中止した。

[表 16]

事業項目	年度	令和2年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		駒澤大学仏教学部禅学科／坐禅講座講師派遣	令和2年10月7日・10日
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入	令和2年9月23日 10月13日・27日
		昭和女子大学実習	令和2年11月11日
地域健康づくりグループとの交流		長期継続グループの表彰	【中止】

⑥ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。利用勧奨等は、保険事業者が対象者へ行っているが、支援数は伸びていない。

[表 17]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	30人	8人	26.7%	30人	12人	22人
動機づけ支援	実人数	100人	54人	54.0%	100人	89人	85人

(5) 障害者相談支援事業（定款第4条第2号事業）

① 障害者専門相談

ア 電話・来所相談

区民や関係機関からの障害に関するさまざまな相談に対応し、適切な支援の検討や助言、障害に関する情報の提供・制度の紹介・関係機関との連絡調整等を行った。

[表 18]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談延件数		1,100件	1,129件	102.6%	1,100件	1,514件	889件

イ 専門相談・評価・検査

(ア) 専門医相談

医療相談、身体障害者手帳診断、補装具意見書作成等を行った。

[表 19]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門医相談		190件	168件	88.4%	140件	192件	231件

(イ) 専門職による面接・評価等

障害による生活上の困りごとに対して、専門職の面接・評価等を実施し、本人・家族・支援者に対して適切な対応方法等についての検討やアドバイスを行った。

[表 20]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
面接・評価等		400件	332件	83.0%	400件	300件	—

(ウ) 知的障害者支援小グループ評価事業「りすた」

集団への適応評価や集団適応に向けた支援方法の見立てを行い、適切な支援につなげた。

[表 21]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実人員		12人	2人	16.7%	6人	3人	—
評価実施		96回	64回	66.7%	48回	24回	—

(エ) プレステップサポート事業

中途障害を受けた方の心身の健康維持増進を目的に、健康管理や運動適性、運動種目の適性等について、指導助言を行った。

[表 22]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実人員		12人	9人	75.0%	6人	7人	—
評価実施		48回	37回	77.1%	24回	9回	—

(オ) 補装具相談・シーティング相談・福祉用具相談・聴覚相談

理学療法士や言語聴覚士等による、各種相談を実施した。聴覚以外については、必要に応じて訪問も行った。

[表 23]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
補装具相談		500件	408件	81.6%	500件	495件	625件
シーティング相談		180件	173件	96.1%	180件	184件	
福祉用具相談		160件	161件	100.6%	160件	202件	
聴覚相談		85件	91件	107.1%	85件	118件	233件

(カ) 住宅改造相談

障害のある方が、自宅で安全な生活が送れるように、理学療法士等が訪問し住宅改造の相談、評価や助言等を行った。

[表 24]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談・評価・助言等		60件	57件	95.0%	40件	69件	55件

ウ 障害者施設等への技術支援

障害者施設などの依頼により専門職を派遣し、施設職員等に対して支援技術の向上のための助言指導などを行った。

[表 25]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
技術支援		300回	260回	86.7%	300回	301回	319回

エ 研修・ネットワーク事業

障害のある当事者や家族に向けて、相談会や交流会、講演会を開催した。また、区内の関係機関等との円滑な連携体制の構築に向けた各種専門職等の連絡会を開催し、地域のネットワークの構築及び地域支援の強化を図った。

(ア) 相談会

[表 26]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談会		5回	4回	80.0%	5回	5回	5回

(イ) 交流会

[表 27]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
情報交流会（視覚）		12回	7回	58.3%	12回	10回	8回

(ウ) 研修

[表 28]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
講座		5講座7回	7回	100.0%	5講座6回	5講座6回	6講座9回
セミナー		1回	0回	0.0%	1回	0回	1回

(エ) ネットワーク

[表 29]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会等		6回	4回	66.7%	7回	6回	6回

② 乳幼児育成相談

ア 発達・発育に関する評価、助言

乳幼児期の発達・発育に関する相談、評価、助言を行った。評価の結果に基づく子どもの特性や対応、支援方針について説明するとともに、児童発達支援事業に関する情報提供や支援機関の移行等を行った。

相談、インテーク、個別評価件数は、新型コロナウイルス感染予防による休止の影響もあり計画数を下回る結果となった。集団評価は、再開時の事業運営を見直し、グループ数の拡充や待機期間のための親子広場などを実施し、計画数を上回る結果となった。

[表 30]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談業務							
電話・来所相談		900件	708件	78.7%	780件	847件	871件
インテーク		360件	308件	85.6%	360件	367件	359件
専門評価							
個別評価	実人員	720人	511人	71.0%	720人	630人	849人
	延件数	1,900件	1,348件	70.9%	1,900件	1,525件	3,154件
集団評価	実人員	80人	106人	132.5%	80人	87人	—
	延件数	600件	752件	125.3%	600件	900件	—

イ 児童関係機関との連携及び地域支援

区内乳幼児期支援拠点施設との連絡会を定期的に開催した。

地域支援は、上半期の母子保健事業や巡回訪問事業が、新型コロナウイルス感染予防のため中止になった影響で、計画数を下回る結果となったが、新たな試みとして保育課と共同し、障害特性理解と対応に関する研修会をオンラインで実施した。

[表 31]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会		40回	34回	85.0%	30回	41回	—
地域支援		130回	50回	38.5%	50回	117回	200回

③ 高次脳機能障害相談支援

ア 専門相談・評価

高次脳機能に何らかの障害がある、もしくは、その疑いのある方を対象に、専門医、作業療法士、言語聴覚士、心理士等が総合的な評価を行い、今後のリハビリテーションや生活改善についての専門的な助言や情報提供を行った。

小グループでの評価は、就労するために必要なことや補完手段を提案する期間限定（おおむね4か月間）のプログラムを実施した。

[表 32]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
個別相談・評価	実人員	100人	45人	45.0%	実人員	実人員	—
	延件数	400件	218件	54.5%	150人	189人	—
小グループ評価 「コンパス」	実人員	15人	5人	33.3%	延件数	延件数	—
	延件数	500件	196件	39.2%	200件	823件	—

イ 支援者養成

高次脳機能障害者の支援者を養成するため、ガイドヘルパー養成講座、失語症会話パートナー養成講座を実施した。ガイドヘルパー養成講座は、2期(前期・後期)開催のうち、前期は新型コロナウイルス感染予防のため中止した。また、修了生を対象としたフォローアップ講座を実施している。

[表 33]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
高次脳機能障害者ガイドヘルパー養成講座	実人員	20人	4人	20.0%	20人	20人	—
	延人員	120人	24人	20.0%	120人	120人	—
フォローアップ講座		—	2人	—	—	—	—
失語症会話パートナー養成講座	実人員	8人	8人	100.0%	10人	11人	—
	延人員	40人	40人	100.0%	50人	55人	—
フォローアップ講座		—	20人	—	—	—	—

ウ 相談会・講演会

高次脳機能障害に関する区民向けの相談会や当事者・家族向けの講演会等は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定員を減らして行った。

[表 34]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談会・講演会		100人	44人	44.0%	100人	94人	—

エ ネットワーク・地域支援

区内関係機関の円滑な連携や高次脳機能障害に関する全区的な課題解決のため、高次脳機能障害者関係施設連絡会を開催（3回のうち2回は書面による開催）した。

また、講師を派遣し、自主サークルや家族会への支援のほか、障害者施設等の支援者に対し、障害特性の理解や環境調整などについて専門的な助言を行った。

失語症サロンは、平成17年度から養成してきた「失語症会話パートナー」を活用し、失語症のある方が会話パートナーと出会い、支援を受けながら会話を楽しむ場を提供した。保健医療福祉総合プラザでの実施に加え、年度途中より玉川・烏山地域でも開始した。

[表 35]

事業項目		令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域支援・講師派遣・関係機関との連絡会		16回	10回	62.5%	—	17回	—
失語症サロン（3か所）		12回	14回	116.7%	—	11回	—

オ 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業【新規】

失語症者の意思疎通を支援するため、失語症当事者と意思疎通支援者のマッチングを行い、支援者の派遣を行った。

[表 36]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
失語症者向け意思疎通支援者派遣事業		20回	7回	35.0%	—	—	—

(6) こころの健康支援事業（定款第4条第1号事業）

こころの相談機能【新規】

こころの健康に関して気軽に相談できる窓口として、平日夜間・休日の電話相談を実施した。また、精神障害への理解の促進を図るため、保健センター内に「こころの健康に関する情報コーナー」を開設し、区民の利用に供した。

こころの健康づくりを支える人材育成を目的として、ピア養成講座（入門編・基礎編）を実施した。

[表 37]

事業項目	年度	令和2年度			元年度		30年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
電話相談（平日夜間）		153回	155回	101.3%	—	—	—
（土曜日）		52回	51回	98.1%	—	—	—
相談件数		—	2,522件	—	—	—	—
ピア相談員養成講座		1回	1回	100.0%	—	—	—

2 収益事業

収益 1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業、 専門技術支援事業

(1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 38]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,500件	521件	34.7%	1,500件	811件	897件	
病理組織検査	件数	500件	143件	28.6%	500件	220件	220件	
大腸								
内視鏡検査	件数	240件	93件	38.8%	240件	148件	167件	
病理組織検査	件数	100件	39件	39.0%	100件	63件	71件	
乳房								
一般撮影	件数	310件	192件	61.9%	310件	166件	168件	
スポット撮影	件数	30件	40件	133.3%	30件	12件	5件	
超音波検査	件数	340件	266件	78.2%	340件	282件	256件	
細胞診検査	件数	30件	1件	3.3%	30件	11件	11件	
子宮								
細胞診検査	件数	150件	113件	75.3%	150件	118件	149件	
内視鏡検査	件数	150件	113件	75.3%	150件	118件	148件	
病理組織検査	件数	150件	113件	75.3%	150件	117件	147件	
MRI検査	件数	2,100件	1,390件	66.2%	2,100件	1,436件	1,596件	
CT検査	件数	2,100件	1,290件	61.4%	2,100件	1,539件	1,753件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	280件	136件	48.6%	280件	163件	274件	
心臓								
ホルター心電図	件数	24件	14件	58.3%	24件	17件	22件	
超音波検査	件数	190件	106件	55.8%	190件	154件	161件	

(2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。

大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診と便潜血検査との同時受診が可能となっているため、近年保健センターでの受診は減少傾向である。また、大腸は以前より胃がんエックス線検診と同時受診する区民が多かったことから、胃がん検診の減少も少なからず影響している。

① 子宮

[表 39]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数		32,000件	33,155件	103.6%	32,000件	30,240件	31,649件
	体部件数		3,000件	3,519件	117.3%	3,000件	2,963件	3,202件
	がん発見数		—	14人	—	—	13人 (7人)	20人 (10人)

※ がん発見数は令和3年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本2件を含み、このほか再提出として頸部1件(内、前年度再提出1件含む)の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 33,155人、要精検数 505人(要精検率 1.5%)

体部 検査件数 3,519人、要精検数 55人(要精検率 1.6%)

② 大腸

[表 40]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数		8,000件	4,558件	57.0%	10,000件	5,704件	6,538件
	がん発見数		—	3人	—	—	8人 (5人)	9人 (7人)

※ がん発見数は令和3年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり。

※ 検査件数 4,558人、要精検数 335人(要精検率 7.3%)

(3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。

[表 41]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数		100人	138人	138.0%	100人	129人	105人
小中学生 結核検診精密検査	人数		250人	373人	149.2%	250人	325人	355人
企業健診・ 個人健診	人数		2,500人	1,889人	75.6%	2,500人	2,418人	2,330人
脳ドック	人数		180人	103人	57.2%	180人	148人	187人
動脈硬化検査	人数		450人	200人	44.4%	450人	492人	537人
体成分分析測定	人数		100人	156人	156.0%	100人	114人	180人
骨密度測定	人数		250人	176人	70.4%	250人	265人	349人

(4) その他の技術提供事業 (定款第4条第3号事業)

①住宅改修アドバイザー

自宅ですぐ安全で便利な日常生活が送れるように、住宅改修を予定している高齢者宅を訪問し、相談に応じるアドバイザーとして理学療法士等を派遣した。

[表 42]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改修アド バイザー派遣	回数		150回	105回	70.0%	150回	119回	152回

②福祉施設等技術支援

障害のある方が入所もしくは通所している高齢者福祉施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言指導を行った。

[表 43]

事業項目		年度	令和2年度			元年度		30年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数		50回	11回	22.0%	50回	48回	48回